インストールガイド

AXIS M10 シリーズ

AXIS M1011 ネットワークカメラ

AXIS M1011-W ネットワークカメラ

AXIS M1031-W ネットワークカメラ

AXIS M1054 ネットワークカメラ

日本語

法律上の注意事項

ビデオまたは音声監視は法律によって禁止されている場合があり、その内容は国によって異なります。本製品を監視用途でご利用になる前に、ご利用頂く地域の法律を確認してください。
本ネット ワークカメラには、H.264 デコーダ用のライセンスが1つ、そして、MPEG-4デコーダ用のライセンスが1 つ(AXIS M1054を除く)含まれています。追加ライセンスのご購入については、AXIS製品の販売店にお問い合わせく ださい。

電波に関する適合性 (EMC)

本装置は無線周波数を発生、使用、放射するため、指示通りにインストールおよび使用されていない場合は、無線通信に有害な妨害を招く恐れがあります。ただし、特定のインストールにおいて妨害が生じないという保証はありません。
本装置がラジオおよびテレビ受信機に対して有害な妨害を招き、本装置の電源の入/切を行うことによって本装置が原因であると確認できた場合は、次の1つまたはそれ以上の措置にしたがって妨害を是正してください。受信アンテナの方向を変更するか、再配置を行う。本装置と受信機の間隔を広げる。本装置を、受信機が接続されているものとは異なる電源に接続する。販売店または経験を積んだラジオ/テレビ技術者に相談する。EMC基準に準拠するには、本装置でシールド付き (STP) ネットワークケーブルを使用する必要があります。無線周波数および安全に関する規格の遵守についての詳細は*無線伝送規制情報 & 電波に関する適合性 (EMC),* 21ページを参照してください。

安全

EN60950-1 (IEC60950-1) Safety of Information Technology Equipmentに適合しています。

装置の改造

本装置は、必ず本書やユーザーズマニュアルの手順にしたがってインストール、および使用してください。本装置にはユーザーが独自に交換や修理を行える部品は含まれていません。無許可で装置を変更したり、改造したりした場合、適用されている規制証明や認可がすべて無効になります。

責任

本書の制作には細心の注意を払っていますが、不正確な記述や脱落、乱丁または落丁を見つけられた場合は、最寄りのAXIS事業所までご連絡ください。またAXIS Communications ABは、技術的な間違いや誤字/脱字などに対して責任を持たず、予告なく製品や文書の記載内容に対して変更、修正を行う権利を保持します。AXIS Communications ABは、本書に含まれる内容について、商用性および製品の特定用途に対する適性についての黙示的な保証を含め、一切保証を行いません。AXIS Communications ABは、この資料、資材の提供、パフォーマンス、使用の結果に関連した付随的または結果的な損害に対して責務および責任を負いません。

RoHS

本製品は、欧州RoHS指令 (2002/95/EC) および中国RoHS指令 (ACPEIP) に適合しています。

WEEE 指令

The European Union has enacted a Directive 2002/96/EC on Waste Electrical and Electronic Equipment (WEEE Directive).This directive is applicable in the European Union member states. The WEEE marking on this product (see right) or its documentation indicates that the product must not be disposed of together with household waste.To prevent possible harm to human health and/or the environment, the product must be disposed of in an approved and environmentally safe recycling process.For further information on how to dispose of this product correctly, contact the product supplier, or the local authority responsible for waste disposal in your area. Business users should contact the product supplier for information on how to dispose of this product correctly.This product should not be mixed with other commercial waste. 詳細については、"www.axis.com/techsup"を参照してください。

サポート

技術サポートが必要な場合は、AXIS製品の販売店にお問い合わせください。AXIS販売店がお客様のご質問にすぐに回答できない場合は、適切な部門に転送し、早急に回答いたします。インターネットをご利用の場合は、次のことができます。

- ユーザーズマニュアルやファームウェアの更新をダウンロード する。
- FAQデータ ベースで問題の解決方法を見つける。データ ベースは、製品別、カテゴリ ー別、または語句を使用して検索できます。
- 専用サポート エリ アにログインして、AXISサポート に問題を報告する。

AXIS M10 シリーズインストールガイド

このインストールガイドでは、AXIS M10 シリーズネットワークカメラ(以下、ネットワークカメラ)をお使いのネットワークにインストールする手順について説明しています。技術仕様の詳細については、ユーザーズマニュアルを参照してください。ユーザーズマニュアルは、製品に付属のＣＤまたはAXISのホームページ(www.axiscom.co.jp) からご覧いただけます。

インストール手順

1. 下のリストで、パッケージの内容を確認してください。
2. ハードウェアの概要、4ページ。
3. ハードウェアをインストールする、8ページ。
4. IPアドレスの設定、10ページ。
5. パスワードの設定、13ページ。
6. 無線接続の設定、15ページ。(AXIS M1011-W/M1031-W のみ)

重要！
本製品はお使いになる国の法律および規制にしたがって使用してください。

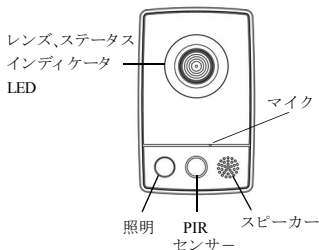
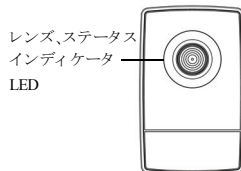
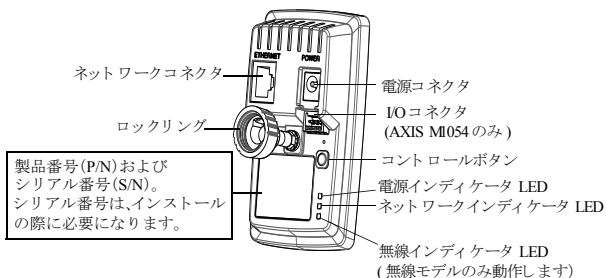
❶ パッケージの内容

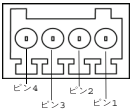
品目	モデル/型/注
ネットワークカメラ	AXIS M1011, AXIS M1011-W, AXIS M1031-W, AXIS M1054
外部電源アダプタ(各国対応)	PS-H* または PS-V ヨーロッパ、英国、米国/日本、オーストラリア、韓国、アルゼンチン、中国 *電源アダプタ延長ケーブル 1.8m、PS-H のみ
延長チューブ	• 短い延長チューブ、取付用ねじ /プラグ(4本) • 長い延長チューブ、ケーブルクリップ、チューブジョイント (AXIS M1054 のみ)
クランプ	棚への取付用
CD	AXISネットワークビデオ製品CD(製品マニュアル、インストールツール、その他のソフトウェアを含む)
印刷物	AXIS M10 シリーズインストールガイド(本書) AXIS保証書

❷ ハードウェアの概要

正面図 - AXIS M1031-W/AXIS M1054

背面図 (全モデル)

日本語

各種コネクタ

ネットワークコネクタ - RJ-45イーサネットコネクタ、シールド付ケーブルの使用を推奨。

電源コネクタ - ミニ DC コネクタ 5.0-5.1V DC、最大 1.5A。
中心 ピン+.

I/O ターミナルコネクタ (AXIS M1054 のみ)

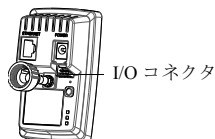
4ピン I/Oターミナルコネクタは、トランジスター出力一つ、デジタル入力一つ、補助電源、グランドに対するインターフェースを提供します。

ターミナルコネクタは、動体検知、イベントトリガー、メールによるアラーム通知、FTPサーバーへの画像保存のためのアプリケーションで使用します。

- 入力 - たとえば、押しボタンの接続用。押しボタンを押すと、状態が変化して入力がactiveになります(Events> Port Status の下に表示)。
- 出力 - [Live View] ページの出力ボタン、または [Event Type] で動作させることができるアラームデバイスに接続します。アラームデバイスが起動すると、出力はactiveと表示されます (Events>Port Status)。

機能	**ピン**	**説明**
GND	1	グランド
3.3V DC 電源	2	補助デバイスに電源を供給することができます。 **注意**：このピンは電源出力としてのみ使用してください。
デジタル入力	3	動作させるにはGNDと接続します。無効にする場合は、フロート状態 (または未接続) にしてください。
トランジスター出力	4	ピン4 ピン2 ピン3 ピン1 ソースをGNDに接続した、オープンドレインNFETトランジスターを使用しています。外部リレーとともに使用する場合は、電圧過度現象に対する保護用に、ダイオードを負荷と並列に接続する必要があります。

以下のように入力/出力デバイスをカメラに接続します:

1. デバイス用ケーブルを付属のコネクタブロックにしっかりと取り付けます。
2. ケーブルを接続したら、コネクタブロックをカメラのターミナルコネクタに取り付けてください。

インディケータ

LED	色	説明
ネットワーク	緑色	100Mbpsネットワークに接続されています。点滅してネットワークアクティビティを示します。
	オレンジ色	10Mbpsネットワークに接続します。点滅してネットワークアクティビティを示します。
	消灯	ネットワークに接続されていません。 注意：**Setup > System Options > LEDの設定**で、ネットワーク LEDが通常作動時に点灯しないように設定できます。詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
ステータス	緑色	正常動作時に、緑色で点灯します。 注意：**Setup> System Options>LEDの設定**で、ステータスLEDが通常作動時に点灯しないように、あるいはカメラにアクセスする時のみ点滅するように設定できます。詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
	オレンジ色	起動中、工場出荷時の状態にリセット中、あるいは設定を元に戻している時に点灯します。
	赤色	低速で点滅している場合は、ファームウェアのアップグレードが正しく行われていません。
電源	緑色	正常に動作しています。
	オレンジ色	ファームウェアのアップグレードを行っている間、緑とオレンジ色で交互に点滅します。
無線	消灯	有線モード。
	緑色	無線ネットワークに接続されています。点滅してネットワークアクティビティを示します。
	赤色	無線ネットワークに接続されていません。無線ネットワークをスキャンしている時に点灯します。

AXIS M1031-WとAXIS M1054 のみ

AXIS M1031-WとAXIS M1054には以下のものが装備されています：

PIRセンサー - その視野の中で通過する物体が放出する赤外線を測定する受動型赤外線センサー。設定をすると、PIRセンサーのトリガーにより、照明を自動的に点灯することができます。感度範囲最大5メートル。

照明 - PIRセンサーのトリガーにより白色LEDを点灯するようカメラを設定できます。設定はWebページ - **Setup > Live View Config > Light buttons**で行うことができます。照明は一時使用のために設計されており、半永久的には使用できません。

マイク/スピーカー 半二重オーディオ用(AXIS M1054は全二重)。

詳細は、Axisのホームページ(www.axiscom.co.jp)、あるいはAXISネットワークビデオ製品CD上にある製品のユーザーズマニュアルを参照してください。

❸ ハードウェアをインストールする

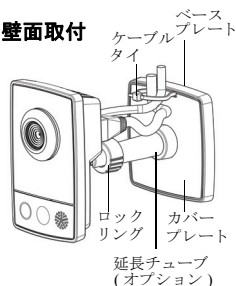
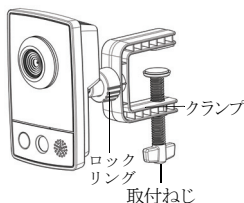
重要！

AXIS M10 シリーズは屋外で使用しないでください - 製品は屋内環境でのみご使用になれます。

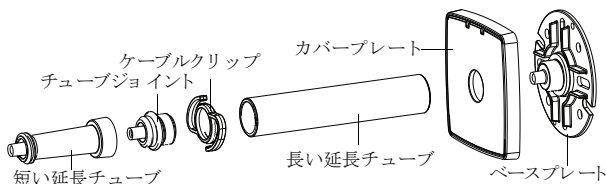
カメラを取り付ける

AXIS M10 シリ ーズはベースプレート と短い延長チューブが取り 付けられた状態で出荷されます。延長チューブを回し、ベースプレート をカバープレート から取り 外します。カメラを壁または棚に取り付けるかに応じて、下記の適切な指示にしたがってください。

壁面取付

1. 付属のねじを使用して、ベースプレートを平らな(水平または垂直)面に固定してください。
2. ベースプレート上にカバープレートを置いてください。必要に応じて短い延長チューブ、また付属(AXIS M1054 のみ)の長い延長チューブを取り付けてください。
3. カメラを取り付け、向きを調節し、ロックリングをしっかり固定してください。
4. カバープレートにケーブルタイを取り付け、接続したケーブルを固定してください。

棚への取付

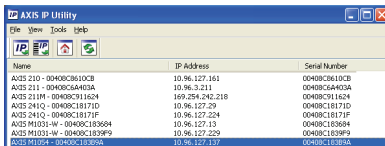
1. クランプの位置を合わせ、取付ねじをしっかりと固定してください。
2. カメラのロックリングをクランプに取り付け、カメラの向きを調節し、ロックリングを固定してください。

延長チューブを利用した組み立て

ケーブルを接続する

1. シールド付きネットワークケーブルを利用して、カメラをネットワークに接続します。AXIS M1054はPoE(Power over Ethernet)をサポートします。無線ネットワーク(AXIS M1011-W/M1031-W)に接続する場合は、カメラの無線設定を行うために有線で仮接続します。詳細については15ページを参照してください。
2. 付属の外部電源アダプタをカメラの電源コネクタに接続してください。AXIS M1054の場合にPoEを使用する際は、本ステップをスキップしてください。
3. インディケータLEDが、正常な状態を示しているかどうか確認してください(6ページを参照)。LEDによっては、点灯しないよう設定でき、点火しない場合もありますので、ご注意ください。

④ IPアドレスの設定

現在、ほとんどのネットワークでは、DHCPサーバーを使用して自動的に接続デバイスにIPアドレスを割り当てています。ネットワークにDHCPサーバーが導入されていない場合は、ネットワークカメラは、192.168.0.90をデフォルトのIPアドレスとして使用します。

Windows環境では、AXIS IP UtilityまたはAXIS Camera Managementをご使用ください。これらは無償のソフトウェアで、製品に付属のCDに収録されています。また、AXISのホームページからダウンロードしてご利用いただけます。設置するカメラの台数に応じて、目的に最も適した手段をお選びください。

使用できる手段	推奨されるカメラ設置環境	オペレーティングシステム
AXIS IP Utility 11ページ 参照	1台のカメラ 小規模インストール	Windows
AXIS Camera Management 12ページ 参照	複数台のカメラ 大規模インストール 異なるサブネットでの導入	Windows 2000 Windows XP Professional Windows Server 2003 Windows Vista

注意：

- IPアドレスの設定が行えない場合は、ファイアウォールによって設定が妨げられていないかどうか確認してください。
- 他のOSを使用する場合など、AXIS M10 シリーズのIPアドレスの設定および検出方法については、19ページを参照してください。

AXIS IP Utility - 1台のカメラ/小規模インストール向き

AXIS IP Utilityは、ネットワーク上のAXISデバイスを自動的に検出して表示します。また、本アプリケーションを利用して、手動で静的IPアドレスを設定することができます。AXIS IP Utilityは、AXISネットワークビデオ製品CD上から、またはホームページ(www.axis.com/techsup)からダウンロードしてご利用いただけます。

AXIS M10 シリーズネットワークカメラは、AXIS IP Utilityが動作しているコンピューターと同じネットワークセグメント(物理サブネット)にインストールしてください。

自動検出機能

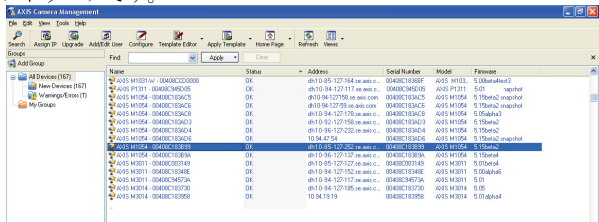
1. AXIS M10 シリーズネットワークカメラがネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
2. AXIS IP Utilityを起動します。
3. AXIS M10シリーズネットワークカメラがウィンドウに表示されたら、ダブルクリックしてカメラのホームページを開きます。
4. パスワードの設定方法については、13ページを参照してください。

IPアドレスの手動設定(オプション)

1. お使いのコンピューターを接続している同一のネットワークセグメントで未使用のIPアドレスを入手します。
2. リストでAXIS M10 シリーズを選択します。
3. **選択したデバイスに新しいIPアドレスを設定**ボタン をクリックし、IPアドレスを入力します。
4. **IPを設定** ボタンをクリックし、画面の指示にしたがいます。新しいIPアドレスを設定するには、2分以内にカメラを再起動する必要があります。
5. **ホームページ**ボタンをクリックして、カメラのWebページにアクセスします。

6. パスワードの設定方法については、13ページを参照してください。

AXIS Camera Management - 複数台のカメラ/大規模インストール向き

AXIS Camera Managementはネットワーク上の複数のAXISデバイスを自動的に検出し、接続ステータスの表示、ファームウェアのアップグレード、IPアドレスの設定などを行うことができるソフトウェアです。

自動検出機能

1. カメラがネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
2. AXIS Camera Managementを起動します。ウィンドウにネットワークカメラが表示されたら、リンクを右クリックし、**Live View Home Page** を選択します。
3. パスワードの設定方法については、13ページを参照してください。

1台のデバイスのIPアドレスを設定する

1. AXIS Camera Management 内の一覧からネットワークカメラを選択し、**Assign IP** ボタン をクリックします。
2. ［**Assign the following IP address**］を選択し、デバイスに設定するIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトルータの値を入力します。
3. **OK**をクリックします。

複数台のデバイスのIPアドレスを設定する

AXIS Camera Managementを利用すると、特定のIPアドレスの範囲を指定することにより複数台のデバイスにまとめてIPアドレスを割り当てることができ、設定作業を迅速化することができます。

1. 設定したいデバイスを選択し(異なるモデルも選択可能)、**Assign IP** ボタン をクリックします。
2. **Assign the following IP address range**を選択し、デバイスに設定する IP アドレスの範囲、サブネットマスク、デフォルトルータの値を入力します。
3. **OK**ボタンをクリックします。

⑤ パスワードの設定

製品にアクセスするには、まず、デフォルトの管理者である **root** 用のパスワードを設定する必要があります。この設定は、AXIS M10 シリーズに初めてアクセスしたときに表示される、**Configure Root Password**ダイアログで行います。

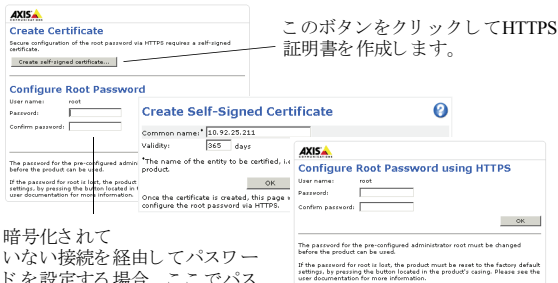
rootパスワード設定時にネットワーク上で盗聴されるのを防ぐため、パスワードの設定は暗号化されたHTTPS接続を使用して行うことができますが、この場合にはHTTPS証明書が必要です(下記の手順を参照)。

標準HTTP接続でパスワードを設定するには、以下の最初のダイアログに直接入力してください。

HTTPS暗号化接続を使用してパスワードを設定するには、次の手順にしたがってください。

1. **Create self-signed certificate**ボタンをクリックします。
2. 必要な情報を入力して、**OK**をクリックします。証明書が作成され、これでパスワードを安全に設定できます。この時点からAXIS M10 シリーズとの間で送受信されるすべてのデータトラフィックが暗号化されます。

日本語

3. パスワードを入力し、スペルミスがないかを確認するために再入力します。**OK** をクリックします。これでパスワードの設定が完了しました。

4. ログインするには、画面の要求にしたがってユーザー名“root”を入力します
注意：デフォルトの管理者ユーザー名である“root”は削除できません。
5. 上記の手順で設定したパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

必要に応じて、[Yes] をクリックし、AMC(AXIS Media Control) をインストールすると、Internet Explorerでビデオストリームを再生できます。インストールするには、コンピューターの管理者権限が必要です。必要に応じてリンクをクリックし、足りないデコーダーをインストールしてください。AXIS M10 シリーズネットワークカメラの**Live View**ページが表示されます。右の**Setup**リンクには、カメラをカスタマイズできるメニューオプションがあります。

AXIS M1011/AXIS M1054: インストールが完了しました。
AXIS M1011-W/M1031-W: *無線接続の設定,* 15ページに進みます。

⑥ 無線接続の設定

AXIS M1011-W/M1031-Wカメラを無線ネットワークに接続する前に、その無線設定が行えるように有線ネットワークに仮接続します。完全でない無線接続を使ってカメラを設定することは、パスフレーズやキーが平文で送信されますのでお薦めしておりません。

注意： さらにセキュリティを強化するため、HTTPSを使用してください。カメラを有線ネットワークに接続したら、**Setup > System Options > Security > HTTPS** にアクセスして、カメラのオンラインヘルプを参照し、指示にしたがってください。

日本語

Status of Wireless Networks

カメラの内部Webページにある**Setup > Basic Setup > Wireless** に進んでください。

本リストはネットワークスキャンの結果です。現在AXIS M1011-W/M1031-Wがリンクしているネットワークは、青色で表示されます。サポートされていないセキュリティを使用しているネットワークは灰色で表示されます。以下の情報が提供されます:

- **SSID** - ワイヤレスネットワーク(またはアドホックデバイス）の名前。
- **モード** - アクセスポイント(マスター)またはアドホックデバイス。
- **セキュリティ** - ネットワークが使用するセキュリティのタイプ(種類)を示します。サポートされているセキュリティタイプについては、下記を参照してください。
- **チャネル** - 現在使用中のネットワークが使用する無線チャネルを示します。
- **信号強度** - 信号強度を示します。
- ビットレート - 現在のビットレートをメガビット/秒単位で示します。現在使用中のアクセスポイントに対してのみ示されます。

注意： SSIDのブロードキャストを無効にしているアクセスポイントは、SSIDを手動で入力しない限り表示されません。

無線設定

1. **Status of Wireless Networks**に表示されているアクセスポイントまたはアドホックデバイスを選択します。必要な情報によっては**無線設定(Wireless Settings)**に自動的に入力されます。
2. **SSID** は、選択した ワイヤレスネットワークの名前です。AXIS M1011-W/M1031-W が最も近くにある安全でないネットワークにアクセスする場合は、この欄を空白にしてください。
3. **ネットワークタイプ** - **Master**を選択し、アクセスポイントを介してネットワークにアクセスするか、もしくは**Ad-hoc**を選択し、その他の無線デバイスにアクセスしてローカルネットワークを構成してください(下記の「注意」を参照)。
4. **セキュリティ** - 以下の方法の 1 つを選択してください:
   - WPA-/WPA2-PSK
   - WPA-/WPA2-Enterprise - 下記の指示を参照してください
   - WEP - 下記の指示を参照してください
   - No security(推奨されていません)

セキュリティのために使用されるキー、パスフレーズ、証明書は手動で入力しなければなりません。必要な情報の詳細を得るには、ネットワーク管理者に連絡し、選択したアクセスポイントまたはアドホックデバイスについてお問い合わせください。

5. **Save(保存)** をクリックしてください。

注意： アドホックモードによって、アクセスポイントを介して接続しなくても無線LANを構成できます。たとえば、カメラは無線ネットワークサポートによって、コンピューターとポイントツーポイント接続できます。アドホック接続は、特定の環境では便利ですが、推奨の方法ではありません。

WPA-/WPA2-PSK - アクセスポイントに必要な事前共有鍵を入力してください。16進数(Manual hex) またはパスフレーズで入力できます。

WPA-/WPA2-Enterprise - アクセスポイントで使用されているクライアント/サーバー認証型式を選択してください。

EAP-TLS

Wireless Settings
SSID: access_point_1
Network type: Master Ad-Hoc
Security: WPA-/WPA2-Enterprise
WPA-Enterprise type: EAP-TLS
Identity: axis
Private key password: •••••
EAPOL version: 1
Certificates
Certificate management: Upload/Remove...
Warning! Passphrases and keys saved here will be sent to the AXIS M1031-W in plain text.
Save Reset

- **Identity -** ネットワークで使用するユーザIDを入力してください。
- **Private key password -** ユーザIDに対するパスワードを入力してください。
- **EAPOL version -** お使いのアクセスポイントで使用しているバージョン(1 または 2)を選択してください。
- **Certificates(証明書) -** 認証用にアクセスポイントに提示するCA証明書をアップロードしてください。

WEP

Authentication(認証) - お使いのアクセスポイントで利用されている方法に応じて、**Open**または**Shared Key**を選択してください。すべてのアクセスポイントで、このオプションが利用できるとは限りません。場合によって、オープンシステムが利用されます。これはSSID認証として知られています。

Key length(鍵の長さ) - 64または128ビットの無線暗号化に使用されるキーの長さを設定します。この暗号鍵の長さとして40/64や104/128が表示されるかもしれません。

日本語

鍵の種類 - 利用できる鍵の種類は選択したアクセスポイントによります。次のオプションがカメラで利用できます:

- **Manual** - 手動で16進数の鍵を入力できるようにします。
- **ASCII** - 文字例は64ビットのWEPでは5文字、128ビットのWEPでは13文字でなければいけません。
- **パスフレーズ** - 64ビット の WEPでは、パスフレーズは4つの異なる鍵を生成します。128ビット の WEPでは、生成される鍵は1つのみで、4つの鍵すべてに対して複製されます。鍵の生成は規格化されていないため、メーカーによって異なるかもしれません。生成された鍵がお使いのアクセスポイント の鍵と一致しているか確認してください。異なる場合は、手動で入力しなければなりません。

無線インストールを完了する

1. カメラ の無線設定がアクセスポイントの設定に対応しているかどうかを確認してください。
2. カメラからネットワークケーブルを取り外してください。
3. 20~30秒後にWebページを更新し、無線接続できるか確認してください。カメラにアクセスできない場合は、AXIS IP Utilityを起動し、リストから選択します。

注意:

- 通信を確立するには、無線設定は、アクセスポイントまたはアドホックデバイスとカメラとで同じでなければなりません。
- セキュリティのために使用されるキー、パスフレーズ、証明書は手動で入力しなければなりません。ネットワーク管理者に連絡し、選択したアクセスポイントまたはアドホックデバイスに関する必要な情報を問い合わせてください。
- 無線設定は、無線アクセスポイントで設定、変更する前に、常に(インストール中やその他いかなる時も)まずカメラ側を設定変更しなければなりません。これにより変更の際には、カメラはいつでもアクセスできることが保証されます。
- SSID(サービスセット識別子)は、ESSID(拡張サービスセット識別子)と記されることがあります。

これでAXIS M1011-W/M1031-Wのインストールが完了しました。

IPアドレスのその他の設定方法

	対応オペレーティングシステム	説明
UPnP?	Windows (MEまたXP)	コンピューターで有効に設定されている場合、カメラが自動的に検出されて、[マイネットワーク] に追加されます。
Bonjour	MAC OS X (10.4以降)	Bonjourに対応したブラウザーで使用できます。ブラウザー (Safariなど) のBonjourブックマークに移動し、リンクをクリックしてカメラのWebページにアクセスします。
AXIS Dynamic DNS Service	すべて	AXISが無償で提供するサービスで、カメラをすばやく簡単にインストールできます。サービスの利用には、HTTPプロキシを使用しないインターネット接続が必要です。詳細については、www.axiscam.netを参照してください。
ARP/Ping	すべて	ユーザーズマニュアルを参照してください。コマンドの実行は、カメラに電源を接続してから2分以内に行う必要があります。
DHCPサーバーの管理者ページを閲覧してください	すべて	ネットワークのDHCPサーバーの管理者ページを表示する方法については、サーバーのマニュアルを参照してください。

工場出荷時設定にリセットする

すべてのパラメータおよびIPアドレスを工場出荷時の設定に戻すには、以下の方法を利用します :

1. ネットワークカメラの電源を切ってください。
2. コントロールボタンを押しながらネットワークケーブルを接続してネットワークカメラの電源を入れます。

日本語

3. ステータスインディケータがオレンジ色で点灯するまでコントロールボタンを押し続けます（約5秒程かかります)。
4. コントロールボタンを放します。ステータスインディケータが緑色で点灯します（1分程かかる場合があります)。カメラは、工場出荷時のデフォルト設定にリセットされました。
5. IPアドレスを設定し直すには、本書で説明するいずれかの方法で行ってください。

インターネットを経由してネットワークカメラにアクセスする

IPアドレスの設定が完了すると、お使いのローカルネットワークでAXIS M10 シリーズネットワークカメラにアクセスできるようになります。インターネットを経由してカメラにアクセスする場合は、受信トラフィックを受け入れるようネットワークルータを設定する必要があります (通常、特定のポートで行います)。

- 閲覧と設定を行う場合は、HTTPポート(デフォルトポート：80)
- H.264ビデオストリームを閲覧する場合は、RTSPポート(デフォルトポート：554)

詳しくは、お使いのルータのマニュアルを参照してください。この他のトピックについて詳しくは、AXISのサポートサイト (www.axis.com/techsup) を参照してください。

関連情報

ユーザーズマニュアルは、製品に付属のCDまたはAxisのホームページ(www.axiscom.co.jp) からご覧いただけます。

www.axis.com/techsupにアクセスして、AXIS M10 シリーズのファームウェアのアップデート版がリリースされていないかどうか確認してください。現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには、カメラのWebページにあるSetup>Aboutを参照してください。

無線伝送規制情報 & 電波に関する適合性 (EMC)

本装置は無線周波数を発生、使用、放射するため、指示通りにインストールおよび使用されていない場合は、無線通信に有害な混信を招く恐れがあります。
本装置がラジオおよびテレビ受信機に対して有害な干渉を招き、本装置の電源の入/切を行うことによって本装置が原因であると確認できた場合は、次の1つまたはそれ以上の措置にしたがって干渉を是正してください。受信アンテナの方向を変更するか、再配置を行う。本装置と受信機の間隔を広げる。本装置を、受信機が接続されているものとは異なる電源に接続する。販売店または経験を積んだラジオ/テレビ技術者に相談する。EMC基準に準拠するには、本装置でシールド付き (STP) ネットワークケーブルを使用する必要があります。
家庭またはオフィスでの使用に対してFCC基準に準拠していることがテストによって確かめられています。本装置は、必ず本書やユーザーズマニュアルの手順にしたがってインストール、使用を行ってください。このAXIS製品は以下の無線周波数および安全に関する規格に遵守しています

AXIS M1011/M1011-W/M1031-W/AXIS M1054

米国 - This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B computing device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC rules, which are designed to provide reasonable protection against such interference when operated in a commercial environment.

カナダ - This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

ヨーロッパ - CE This digital equipment fulfills the requirements for radiated emission according to limit B of EN55022, and the requirements for immunity according to EN55024 residential and commercial industry.

日本 - この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報装置です。この装置を家庭環境でラジオやテレビ受信機に近接して使用すると、無線妨害を引き起こすことがあります。ユーザーズマニュアルにしたがって正しく設置し、使用してください。

オーストラリア - This electronic device meets the requirements of the Radio communications (Electromagnetic Compatibility) Standard AS/NZS CISPR22:2002

AXIS M1011-W/M1031-W (無線)

米国 - Federal Communications Commission FCC
This device complies with Part 15 of FCC Rules.Operation of the device is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference
(2) This device must accept any interference that may cause undesired operation.

カナダ - This device complies with RSS-210 of Industry Canada.Operation is subject to the following conditions:
(1) This device may not cause interference, and
(2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

ヨーロッパ - EU Declaration of Conformity.This device complies with the requirements of the R&TTE Directive 1999/5/EC with essential test suites as per standards:
EN 301 489 General EMC requirements for radio equipment,
ETS 300 328 Technical requirements for radio equipment.

日本 - 本製品は特定無線設備の技術基準適合証明に遵守しています。

オーストラリア - This electronic device meets the requirements of the Radio communications (Electromagnetic Compatibility) Standard AS/NZS 4771.